



競馬の本場・英国さながらに

エリザベス女王杯を観戦



エッセイストの三浦暁子さん
「困った時は騎手買いを」と



「女性の競馬人気に努めたい」とJRA日本中央競馬会
土川健之理事長



「競馬には、それぞれの馬のドラマがある」と競馬ジャーナリストの鈴木淑子さん



マキシンの帽子を身にまとい記念撮影



懇親会場前には、マキシンの上品な帽子が並ぶ



栄光のゴールの瞬間を目前で



洋服に合わせた帽子をエレガントにコーディネート



ゴンドラ貴賓室からコースを望む



㈱マキシンの渡邊百合社長が女性たちを楽しくコーディネート

紳士淑女のスポーツとして伝統のある競馬。発祥の地・英国では、ドレスアップした女性たちが華やかな衣装に身を包み、競馬場は気品の高い社交場となってきた。

1975年、エリザベス女王陛下の来日を記念して、翌年「エリザベス女王杯」が創設。3歳以上の牝馬日本を決めるGIレースとして、強くて美しい数多くの名馬を生み出してきた。

JRA（日本中央競馬会）は、1982年以降、エリザベス女王杯の当日を「レディステイ」として定着させ、多くの女性に競馬の魅力や楽しみ方を知ってもらおうと様々な催しを行ってきた。

11月16日、京都競馬場のゴンドラ貴賓室には、各界で活躍する約50名の女性が招かれ、装いも美しく競馬場の雰囲気やレースを楽しんだ。今年も、皇室やオリンピック選手団などの帽子の手がける㈱マキシンの協力で、参加者たちに帽子が提供され、ドレスアップした女性たちを一層エレガントに演出した。本場・英国さながらに、ファッションナブルに競馬を楽しんだ。

つくりはなびと
創花 人花のティアアラ展

小さな花々への手づくりの愛

佐藤悦枝の世界



「花と花をつないで
ものともをつないで
人と人をつないで…
輪をつくり 飾り
幸せを呼ぶティアアラをつくる」

久しぶりの個展ですと、創花
人佐藤悦枝さんからの「花のティ
アラ」展のおしらせ。10月21日〜23
日に兵庫県民会館1階展示室で
開催された個展に、胸ときめいて
訪れた。

そこに広がる、優しくエレガント
な「花のティアアラ」たちの顔は、明る
くあたたかく、小さな花々からの
ささやきが聞こえてくるよう。彩
り豊かでシンプルな作品は、一点



点心が込められ、まるで夢の世界のようだった。

佐藤さんは、18歳で木村貴多子先生に師事。木村先生は、その当時、アートフラワー作家として、帽子店「マキシ」から弥生美容室、みどり美粧院、エリザベスといった有名美容室などで「手に花づくり」をされていた。

26歳で独立した佐藤さんは、おしゃれなセンスでアートフラワーに取り組み、多数の小花たちの群花、大輪の牡丹や深い色合いのバラなど、独自の世界を構築。神戸ファッションモデリスト(KFM)のメンバーとして、デザイナーたちのドレスに、アートフラワーを添えるという出会いによりさらに美しく開花。

「ひょうご女性未来会議」では、女性たちの活動に贈られる「纏はだか賞」の、花のティアラ製作を担当。この秋、神戸市文化活動功労賞を受賞した。

この「花のティアラ」展は、彼女の作家活動45年の集大成。円熟の花づくりは、男女を問わず、子どもたちまで魅了した。

■虚子・青畝の継承者

小路紫峽さんの

「ひいらぎ」主宰30周年を祝う



「童女佇む如し妻牡丹」智寿子



鬼灯の色つく月日願みし 紫峽



去る9月14日、神戸ポートピアホテル偕楽の間にて「ひいらぎ」小路紫峽主宰30周年記念祝賀大会が開催された。第一部の式典、第二部の祝賀会ともに盛会で、十七音の美学を愛好する人々が集い、30年の歴史を振り返るばかりでなく、これからの「ひいらぎ」に新しい展開を予感させるような賑やかなムードに包まれた。

「ひいらぎ」は神戸市在住の小路紫峽さんと妻の智寿子さんを中心に発行しており、「ホトトギス」の流れをくむ正統派俳句雑誌。高浜虚子とその継承者の一人の阿波野青畝という偉大な俳人の精神を受け継いでいる。三重県の文学青年、里田終美が昭和17年に「終」として発刊、当時は「ホトトギス」同人の植松冬嶺星が選句を担当していた。

そんな「終」と小路紫峽さんの縁は、彼が山口県宇部市に在住していた中学生の頃の投句からはじまる。しかし、学校を卒業し神戸市内に勤務することとなった紫峽さんと「終」の縁は、昭和22年以降途切れてしまう。

時は流れ、昭和52年に句集『風



の翼』を発刊すると嵯美から来
信があり、文通が再開される。し
かし、残念ながら一人は顔を合わ
せることなく、翌年に終美は逝去
してしまふ。以降、依頼を受けた
紫峽さんは「嵯」の選句を担当す
ることに。その後、第三種郵便物
の認可を受けたことを契機に誌
名を「ひいらぎ」に変更、阿波野
青歌師より題字をいただく。

紫峽さんは昭和55年より主宰
となる。昭和60年に発行所を伊
勢市より神戸市に移し、名実と
もに「ひいらぎ」の主宰者として指
導していくこととなり、現在に至
っている。立読みした「ホトトギス」
に感銘を受け、主宰者の高浜虚
子に信を送り俳句への道を志し
てから67年、今もなお有季定型の
伝統を守り、写生の修練に励んで
いる。「60年間、神戸で俳句を続
けてよかった。今後とも芭蕉の造
化に従ひ造化に帰れ」に学び、自
然を愛し、良き仲間とともに作
品の品格を大切にしていきたい」
と祝賀会の謝辞の中で語った主宰
者とともに、「ひいらぎ」はこれか
らも潔くも美しい言の葉を紡いで
いくことだろう。

病気は風と共に去りぬ！

北

徹

神戸市立医療センター
中央市民病院院長

風さやか

元タカラジエンヌ



北 徹 きた・とおる(写真左) 京都大学医学部卒業、京都大学大学院医学研究科博士課程修了、京都大学医学博士学位取得。これまで、京都大学医学部附属病院副病院長、京都大学理事・副学長をへて、今年10月に神戸市立医療センター中央市民病院院長に就任。京都大学名誉教授。第35回ヘルツ賞一等賞、第2回日本動脈硬化学会賞、日本医師会医学賞を受賞。

北 親父は勤務医をしていました。僕は京都生まれで、高校は六甲学院の卒業です。

風 亡くなった主人も私も市民病院にお世話になりました。私も膠原病で、別府にある九州大学の温泉研究所へ行つて、東洋と西洋医学の温泉治療を受けました。膠原病から背髄カリエスに罹りまして、いろいろなりハピリを続けました。

北 今日の院内コンサートで、風さんの軽やかなダンスを見てると、病気を患っているとは思えませんね。病気も「風と共に去りぬ」といった感じですね。(笑)

風 病気は気からといいます。95パーセントは、自分自身の気



の持ち方に左右されると伺いました。私は、小さいころから夢に向かって、いつもときめいていたいと願ってきました。その願いが、病気に打ち勝っているのではないのでしょうか。

北 今日の院内コンサートは、風さんの「夢の世界」に引き込まれました。見ている人も風さんと一体となって楽しんでいました。患者さんも病気を患っていることを忘れて、大きな声を張り上げて歌ったり。あそこま

で、患者さんを引き込むんですから大したものですよ。

風 愛と夢をモットーに私の踊りや歌で、多くの患者さんが元気になっていただけたら最高なんです。

北 あふれんばかりのパワーが病院の隅々まで行きわたって、気分爽快でした。来年も素敵なステージをお願いします。

風 来年もよろしく願っています。

風さやかさん 院内コンサート後の アンケートより

言語障害が残っていますが、今日はとても楽しく元気をもらって、リハビリに励みます。また、お会いしましょう。

64才女性／病院職員

楽しいひと時をありがとうございました。元気をもらって帰らせていただきます。主人が市民病院で旅立って2年8カ月。早いもの。悲しさを忘れて前向きにと思いつつ、本当にありがとう！

70才女性／通院患者

心の洗濯ができました。体や心が病む患者にとって、大変心が和み、元氣と勇氣を与えられる気がしました。

64才男性／入院患者

風さんの元氣あふれるお話と歌、とてもよかったです!! 「自分にもときめいてください」との言葉。とても大事ですね。

66才男性／通院患者



芸道六十周年記念 重森由郷・新内志賀由郷
 風さやか ショー
 特別出演 愛と夢 ショー



生田神社式年造替
 兵庫宮御旅所
 本殿屋根葺替



★深まりゆく京都の秋―志賀流の三味線の音色に、重森流の詩の調べに舞い踊る風さやか。

10月18日、京都全日空ホテル。「重森由郷・新内志賀由郷 邦舞・邦楽新作の夕べ」のプログラムでは、詩吟、新内舞踊、大和楽、そして近松の「曾根崎心中」を作曲し、新内志寿の三味線で母娘競演。第二部はゲストの皆さんの競演。そして第三部で、「風さやか 愛と夢」ファンタジックなひとときを」と題した華麗なショータイムを。新内志寿さんの三味線にのって歌う「さやか節」は一段と粋。京都に秋の風が舞いました。

★10月17日、生田神社の兵庫宮御旅所の本殿屋根の葺き替えが終わって、めでたく直会が開かれました。兵庫御旅所は、明治32年4月、本社より天照皇大神宮を奉還して、兵庫一町の守護神として祀られ、兵庫界隈の人々から篤い信仰を受けています。当日の式典の祝舞は、風さやかが獅子の舞を威勢良く踊り、直会では「愛と夢」ショーを演じ、加藤隆久生田神社宮司も「さすが風流」と大満足。

★11月2日にはのぞみ57号で博多へ、そしてつばめ7号で熊本へ到着。風さやかは、平成音楽大学

愛と夢・風さやか故郷に行く 火の国くまもとよかたいツアー



KOBE PR SONG (財)神戸観光コンベンション協会後援

I Love ♥ KOBE/あなたと神戸 **好評発売中!**

◆お求め・お問い合わせは

▲ゆうせん放送に登場中!

UGAカラオケに初登場!

OFFICE *Sayaka* **078-341-3803**

もう一度 ♥ 神戸の街で... デュエット曲 さやか&Ken

7月16日新曲CD発売

元タカラジェンヌの皆様を
ゲストに招いてのトーク番組

風さやか 愛と夢 **永遠のタカラジェンヌ**

毎週日曜 PM10:30~PM11:00 ラジオ関西 558にて好評 ON-AIR

★0才から100才までの愛と夢カルチャークラブ開講

- ★12月7日(日) 吾妻ふれまち演芸会
- ★12月23日(火) 祝山のまふれまちくさぱーティ
- ★12月31日(水) ラジオ関西「風さやか&愛と夢」年末特番放送 19:30~20:30
- ★1月10日(土) 生田神社年頭拝見 11:00
- ★2月3日(火) 生田神社五年節分 福男に

の学園祭「平成祭」の特別企画に参加。花形スター夢の共演のステージは、九州演劇協会会長の玄海竜一さんと、元タカラジェンヌ風さやかのコラボレーション。風さやかはいとこで平成音楽大学学長・出田敬三先生のピアノで歌い、踊って、学生たちの大声援をうけた。夜は「スターライト」でよかパーティー。翌昼、400年を迎えた堂々の美・熊本城を眺めて大感激。水前寺公園も清々しく、「よかたーい! 熊本また行きたくー」と、大人の修学旅行、いいえ: 愁楽旅行でした。

Art

兵庫県立美術館 2008年度コレクション展Ⅲ 特集「東山嘉事」

ひがしやまかじ

11月22日(土)~2009年3月15日(日)
兵庫県立美術館 常設展示室



東山嘉事(自作とともに)2004年頃
兵庫県三田市にて 撮影:おっと



《共存の哲学》1989年 鉄
「神戸具象彫刻大賞展89」神戸市制100周年記念賞受賞作品

三田市を拠点にユニークな創作活動を展開した東山嘉事(1934-2006)を回顧する特集コーナーを設置し、批判精神とユーモアに満ちた彼の世界を紹介する。没後のアトリエに遺された作品を中心に、貴重な写真や映像を交え、奇才の仕事ぶりの全貌にせまる。

10:00~18:00

月曜休館、12/24~1/1休館

一般500円 大高生400円 中小生250円

兵庫県立美術館

(阪神「岩屋」駅より徒歩約8分)

■問/兵庫県立美術館 ☎078-262-0901

ギャラリースケジュール

Gallery Schedule

デュオぎやらりーI12月の催し

●12月4日(木)~9日(火)

水中写真展(ぎやらりーIIと同時開催)神戸YMCA

●12月11日(木)~16日(火)

神戸YPC写真展

●12月18日(木)~23日(火)

神秘の大地アラスカ

デュオぎやらりーII12月の催し

●12月4日(木)~9日(火)

水中写真展(ぎやらりーI)と同時開催

●12月11日(木)~16日(火)

コバコ展 イラストユニットコバコ

●12月18日(木)~23日(火)

シャドーボックス展

デュオぎやらりー、デュオぎやらりーIIはJR神戸駅南側デュオこうべ内

Music

神戸学院大学地域研究センター 研究講演会 「師走の町に、オルガン・ジャズが鳴り響く。」

12月6日(土)

神戸学院大学ポートアイランドキャンパス(レストラン「ジョリポー」)

芸術を通じて地域社会との交流・相互研究を行っている神戸学院大地域研究センター芸術学分野第22回研究講演会。

今回は「ジャズの中でもとりわけソウルフルなオルガン・ジャズ。なぜこれほどまでに心が温まりいやされる音楽なのだろうか?」と、ジャズの成立と関係の深いスピリチュアルやゴスペル音楽などの歴史、そして Hammond・オルガンという楽器の特性などの点に焦点を当てて解説と実演を行なう。小林亮子(オルガン)北本誠(ギター)御薬袋一男(ドラム)のオルガントリオを招く。

16:00開演

聴講は無料

(¥1,000でケーキセットつき。予約時に希望)
聴講希望者は下記に、メールかFAXにて申し込み。

※先着順につき定員になり次第締切です

■問/神戸学院大学地域研究センター
(芸術学分野)

TEL.078-974-4232

FAX.078-974-4258

f-geijut@human.kobegakuin.ac.jp



ライブハウススケジュール **Live House Schedule**
12月のおすすめライブ

ジャズライブ&レストラン SONE

- 12/7(日) ロイヤル・フラッシュ・ジャズバンド
 12/11(木) 森川 奈菜美(Vo)大塚善章(P)中山良一(B)上場正俊(D)
 12/14(日) 鍋島直飛クワルテット+新井雅代(Vo)祖田修(P)時安吉宏(B)
 佐藤英宜 (D)
 12/17(水) キャンディー浅田 (Vo)祖田修(P)中島教秀(B)石川潤二(D)
 12/25(木) 長谷川元伸クワルテット+新井雅代(Vo) 祖田修(P)木村知之(B)
 塩入基弘(D)
 12/31(水) Cownt Down2009
 新井雅代(Vo)長谷川 元伸(As)大越理加(Vo)石川武司 (P)
 北莊桂子(Vo) 井手厚(B)辛島すみ子(Vo)御葉袋一男(D)

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE 北野坂
 078-221-2055 <http://kobe-sona.com>
 ★ステージ18:50~23:00 計4回 ★ミュージックチャージ 900円

記載された以外にも、
 毎晩ライブあり。ホーム
 ページでスケジュールを
 チェックしてください。

クラシックライブハウス ピアジュリアン

- 12/10(水) クローバーカルテット
 12/11(木) ヴァイオリンデュオ 岩谷佑之&大竹貴子
 12/12(金) 小西潤子・高田真奈美・尾崎比佐子(ソプラノ)
 12/16(火) ゆうきじゅん
 12/24(水) 第84回藤溪優子シリーズ 松澤須美(メゾソプラノ)
 木澤香偲(ソプラノ)
 12/25(木) 谷本華子(ヴァイオリン)川崎翔子(p)
 12/29(月) 雑賀美可(ソプラノ)伊藤正(バリトン)藤江圭子(p)
 12/31(水) 年越しカウントダウンコンサート

■クラシックライブハウス PIA Julien
 三宮駅北側近藤ビル9階(1階マクドナルド)
 078-391-8081 月曜定休 <http://pia-julien.com>
 ★ステージ19:30/21:00(計2回)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。ホーム
 ページでスケジュールをチェックしてください。

ライブ&レストラン Holly's

- 12/23(火) Eve Robin(尺八)Ron Mason(G)小出恭正(B)松井道朗(D)
 林幸(Vo)
 12/24(水) ゴスペル The Earth Born
 12/26(金) レディースバンド 赤木まや(Vo)辻川弘子(SAX)三浦敦子(P)
 船本菜穂(B)藤谷ちはる(D)

※12月30日~1月4日までお休みさせていただきます。

■Holly's
 各線三宮駅より北へ徒歩7分
 078-251-5147 <http://www.kobe-hollys.com/>
 ★音と光の街神戸北野のLive & Restaurant 「Holly's」

その他のライブスケジュール
 はホームページで!

ギャラリースケジュール
Gallery Schedule

五葉完 画集出版記念展

「五葉さんの木版画はがき 467

—みんなそれぞれ—



12月4日(木)~9日(火) 南京町ギャラリー蝶屋
 (JR・阪神「元町」駅南へ南京町通)
 11:00~18:00(最終日17:00)

☎078-332-0628

「花だより」—木寺明詩画集原画展—



12月4日(木)~9日(火) ギャラリーE サンサカエ
 (JR・阪神「元町」駅南へ元町商店街1番街)
 11:00~18:00(最終日16:00)

☎078-331-5129

小曾根環のmo・ku・me・ta・chi展



heartful
 (綿布にガッシュ)

11月27日(木)~12月22日(月)
 タウンギャラリーNOVANO
 (JR・阪神「元町」駅南へ、大丸浜側筋向い
 ノーリツショールームNOVANO内)
 10:00~18:00(最終日17:00)水曜休館
 ☎078-393-2641



高田 雅子

Masako Takada

一級造園施工管理技士

小さなお庭があることは 居心地のよいリビングをもつこと

道路から建物までの空間や、庭の植物の配置など、建物の外部の設計を手がけている。ハウスメーカーやお客様からの依頼に対し、より機能性がよく、周囲の景観に合ったプランを提案。そしてなるべく緑を取り入れ、四季の移り変わりを感じられるように計画している。「門周りやガレージは、家の中でいうと、なくてはならないキッチンやお風呂場のようなもの。対して庭はリビングやダイニングルーム。機能性だけでなく、自分の好みに作り上げられ、そこはリラックスできる空間となるのです」。

以前は、ホテル建築の企画開発にたずさわっていた。アメリカのランドスケープ会社（景観をよりよくするためのデザイン会社）とともに仕事をする機会をもち、「建築と緑の関わり合いの重要性」を深く感じるようになった。とりわけ個人住宅の造園を学びたいと思いイギリスに留学。カレッジで植物や造園に関する豊富な知識を学んだ。住んでいた寮は郊外にあり、緑はもえるように美しく、身をもって緑のすばらしさを体験。8年前、現在の(株)神戸グリーン造園に入社し、神戸に居を構える。

「植物は育ち、石も古びて味わいが出てきますから、庭は年月とともに改良を加えられ、馴染んでいくのが理想です。住む人と一緒に、ちょっとずつ育っていくんですね。」忙しい現代、暮らしに小さな緑の空間を—そんな彼女の願いが、居心地のよいすまいづくりに息づいている。

■神戸グリーン造園株式会社

☎078-332-2533 <http://www.kgz.co.jp/>



山端 秀明

Hideaki Yamabata

電鉄商事(株)開発部
DTS(ディエス)ケイションズ
ゼネラルマネージャー

バーチャル世界で 神戸の魅力発信

ネット上の3D仮想空間「セカンドライフ」で、神戸の魅力を学ぶ「おしえて神戸塾」を企画。月に2回、ヴァーチャル“神戸”を舞台に開講される授業では、洋菓子、グルメから防災まで幅広く取り上げる。

自身を塾長に、生徒会長に『テニスの王子様』などで人気のアニメ声優で神戸出身の木内秀信さんを起用。南米や韓国からも「木内さんに会いたい」ファンが訪れるなど好評だ。アピールしたいのは、トレンドに惑わされない本物の神戸。「例えばユーハイムのバウムクーヘンがどれだけおいしかったこと」。

社の主な業務は、企業ホームページ(HP)の制作。一方で、商工会議所との企画ではHPの効果的活用法などのビジネス講座、若手クリエイターへの技術指導にと飛び回る。「神戸の人々のITレベルを向上することで、神戸を良い方向へスイッチできれば」と労を惜しまない。異業種交流にも意欲的だ。「神戸をウエディングの街に」という想いのもと集った神戸ウエディング会議の活動に共感、いまヴァーチャル神戸上での仮想結婚式も企画中。「さまざまな世界の人たちと関われるのがIT業界の魅力」という山端さん。<神戸>というキーワードでつながる輪を、より大きくするのが目標だ。

■おしえて神戸塾

<http://www.merimado.com>

胃の粘膜や細胞に入り込む「ピロリ菌」 幼児期の感染に注意



瀧口安彦先生
 瀧口クリニック理事長
 医学博士

「最近、新聞などで『ピロリ菌』に関する記事を目にしますが、
 どのような細菌なのでしょうか。」

瀧口 「ヘリコバクター・ピロリ」という約3μmのらせん状の細菌です。胃の中には強い酸（塩酸）があるため細菌はいないといわれていますが、1983年、オーストラリアの研究者、ワールンとマーシャルが胃の中に住み着いているこの細菌を発見。2005年、2人はノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

「胃の中にピロリ菌がいると、どのような弊害があるのですか。」
 瀧口 ピロリ菌は数本の鞭毛を回転させて活発に動き回り、ウレアーゼという強い酵素でアンモニアを産生し、胃の酸を中和させて、

粘膜の表面や細胞の間に入り込んで炎症を起こします。

「全ての人の胃にいますか。」

瀧口 いいえ。我が国では、現在、30歳代以下の人は感染率が低いのですが、40歳以上では60〜80%の人がピロリ菌に感染しているといわれています。

「ピロリ菌の感染源は？」

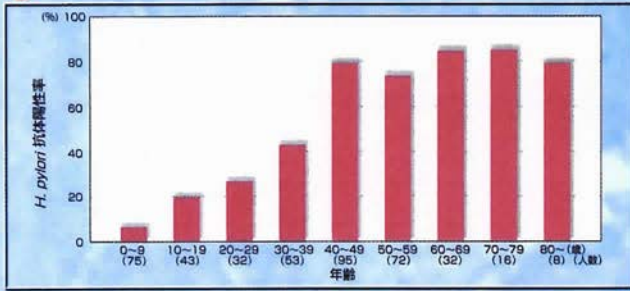
瀧口 感染源ははっきりしていません。しかし、主に口から感染しますので、親がピロリ菌に感染している家庭では、免疫能力が不完全な幼児には口移しで食べ物を与えないようにしましょう。

「胃炎や、胃・十二指腸潰瘍の原因になるといわれていますか。」

瀧口 ピロリ菌は酵素による胃や十二指腸の粘膜への直接傷害の他に、ストレスや薬剤などとも複雑に関係し、胃炎や胃・十二指腸潰瘍を引き起こすと考えられています。胃潰瘍の患者さんの約70%、十二指腸潰瘍の患者さんの約90%以上がピロリ菌に感染して

います。しかし感染者のすべてが胃・十二指腸潰瘍になるわけではなく腫瘍になるのは、そのうち数%程度といわれています。

40歳以上では約80%の人がピロリ菌に感染しています。



[Asaka, M. et al. Gastroenterology 1992;102:760]

―胃ガンとの関係は？

瀧口 胃ガンの患者さんはピロリ菌の感染率が高く、発生に関わっていると考えられます。しかし日本では、ピロリ菌感染率が非常に高いのに、胃ガンの発生率は「生に0・1%程度です。また、ピロリ菌の感染率に差がないのに、胃ガンの男女比は約2対1であるなどの問題もあり、今後の研究が待たれています。

―ピロリ菌に感染した人はみんな除菌したほうがよいのでしょうか。

瀧口 除菌治療が勧められるのは、胃潰瘍と十二指腸潰瘍の患

者さんで、保険診療でできます。

除菌すると、潰瘍再発率が著しく低下するという報告が多く出されるようになり、最近では胃・十二指腸潰瘍治療とともに除菌治療も行われるようになりました。

―除菌に成功したら、もう潰瘍にならないのですか。

瀧口 残念ながら中には、また感染したり、胃・十二指腸潰瘍が治りきっていないかったり、解熱鎮痛剤などで腫瘍が再発することもあります。除菌後の治療は主治医と相談して決めて下さい。

―感染の診断方法は？

瀧口 内視鏡で粘膜表面組織を生検する検査(迅速ウレアーゼ試験、鏡検法、培養法)と、そうでない検査(尿素呼吸気試験、血清尿中・便中抗体検査)があり、それぞれに診断精度の良し悪しや長所短所があるので、複数の検査を用いることをお勧めします。

―ピロリ菌除去の方法は？

瀧口 プロトンポンプインヒビター(ランソプラゾール、オメプラゾール、ラベプラゾール)という酸分泌抑制剤と、2種類の抗生物質(クラリストマイシンと、アモキシシリン)を1日2回、7日間続けて飲

みます。比較的安全ですが、軟便や下痢などの胃腸障害や、口の中が苦く感じられる味覚異常、発疹などの副作用があらわれることもあります。もし「おかしいな」と思ったらすぐ医師に相談して下さい。除菌治療終了後、一般的には1カ月以上経って、ピロリ菌がいなくなったかを検査(除菌効果判定)します。成功率は約80%です。不成功であれば、薬剤を使って除菌をやり直すこともありま

す。

―除菌後の注意点は？

瀧口 除菌後に逆流性食道炎などを起こすことがあります。いづれも軽症です。また、胃の調子が良くなり、食事がふえて、太ってしまうことがあるので、生活習慣には気をつけて下さい。また、除菌成功後も潰瘍の再発や胃ガンなどが発見されることがあるため、1年に1回は経過観察のために検査を受けましょう。

内視鏡を使う検査

採取した組織中のピロリ菌を調べる検査



内視鏡を使わない検査

吐き出された息からピロリ菌を調べる検査



血液や尿などを採取してピロリ菌を調べる検査



休日の急病は…

神戸市医師会急病診療所(神戸市医師会館1F)
☎0783412631
小児科休日急病診療所(西区学園西町4-2)
☎0787954915



でん太の 教えてドクター



その⑥〇 新しい時代の「矯正治療」

お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

D r. 赤ちゃんとお母乳のお話から始まった、お子さんのお口の健康についてのシリーズをお話ししてきましたが、最後は、子どもの歯の矯正きょうせいについての話をしましょう。

でん太 「子どもの歯の矯正はいつから始めたら良いのでしょうか」といった質問は、これまでに何度か寄せられたことがあったんだよ。

D r. 矯正はいつから開始するか、そのことをお話しする前に、これまでの矯正治療の取り組み方と、今注目されている、これからの矯正の考え方についてお話ししようか。

成長した身体に 合わせていくのではなく

でん太 矯正治療は、昔と今とではそんなに変わってきているの？

D r. 従来の矯正とは「顎あごの大きさに、歯の大きさを合わせる」という考えだったんだ。例えば、顎の大きさが10センチだったとして、そこに永久歯が生えてくる。その歯の幅をすべて足したら12センチあった。歯の方が2センチ幅をとっているの、2センチ分どこかの歯を間

引いて（抜いて）、あごに合わせてしまおうということ。つまり、歯の幅があごに合わないという「成長した身体」に合わせて、歯を調整することで対応しようという姿勢だね。

でん太 歯が生えてしまつてから抜いたりするのは大変だよな。

D r. そうだよな。しかし今注目されている矯正治療は「なぜあごが2センチも小さくなったのか」ということから考える。

でん太 なぜ？

D r. いろいろ原因はあるけれど、これまでお話ししてきたように、母乳をきちんと飲めなかったり、食生活の変化によって、たくさん噛むという習慣がなくなつてきたということなどが原因としてあげられるね。あごが成長しなかったのだから、新しい矯正治療は「ではあごを大きくしよう」という方法で対応しているんだ。

でん太 あごを大きく？そんなことが出来るの。



D r. 顎の成長過程の段階で、上顎の骨を広げる器具を、歯の間に取り付けるんだ。もちろん、顎を広げた後は、歯並びなどを整えていく必要があるんだけれどね。でもこうすれば、歯を抜いたりすることなく、お子さんへの負担も減る。

4歳～5歳には主治医を

でん太 顎の成長過程の段階と
いうと、何歳くらいから矯正をはじめたらいいのかな。

D r. だいたい、6歳～10歳くらいだね。永久歯が生えてから顎の



矯正器具「ハイラックス装置」
上あごの左右の歯をつないだ装置で、中央にはネジがついており、このネジを少しずつ広げることで、上あごが左右に大きくなる。

大きさに合わせるといふ、昔の矯正治療の方法だと、歯が生えそろった頃の10歳～12歳に開始していたから、それよりもだいたい小さい頃から始めることになった。

でん太 成長に合わせて、無理なく矯正していくんだね。

D r. だから、4歳～5歳頃になったら、主治医を決めて、お子さんの成長の様子を見てもらいながら相談できるようにするのが良いかもしれないね。矯正治療を行なうとともに、その経過もきちんと管理してもらうことが重要なんだよ。



ハイラックス治療後／前歯には隙間ができるほどあごが大きく、歯の並びもまっすぐになり、飛び出した状態が改善した。



ハイラックス治療前／歯のせまいあごに歯が並んでいるため、窮屈で少し前に飛び出して並んでいる

足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056
mail.adachi@kba.att.ne.jp
http://ado.pr-business.net

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。



■足立 優(あだち まさる)
1960年生まれ。大阪歯科大学卒。
1988年米國留学後、神戸市東灘区に足立優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。また、この概念にもとづく医療システムの普及のために「NPO法人・明日の歯科医療を創る会 POS」を設立し、社会に対して歯科医療情報の公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。

●明日の歯科医療を創る会
ホームページ

http://www.asunoshika.com
TEL 078・4335・4618



中右瑛

巨大表現

大江戸に大骸骨現わる

最終回の今回は、ド肝を抜く巨大モンスターをお目にかけよう。

図は、江戸人が今まで見たこともない巨大な骸骨が忽然と出現した場面だ。

妖術師・滝夜叉姫があやつる大骸骨が大宅光圀を襲う。不気味で、なんとも名状しがたいおどろおどろしい妖気ただよう異様な光景が展開する。

「奇想の画家」と呼ばれた、一勇齋国芳の一世一代の傑作である。

この絵は、山東京伝よまほん読本「善知安方忠義伝」ぜんちやすかた（文化3年・1806）のワンシーン。

物語は承平・天慶の乱（939）で、天下平制の直前、無念の最期をとげた平将門のおとしだね・滝夜叉姫の復讐劇だ。

舞台は、今は廃屋同然にまで荒れ果てた相馬の旧御所。父の無念を晴らすため、妖術を駆使して仇・大宅太郎光圀と対決する。しかし、力及ばず滅んでしまったという。

そんなストーリーのおもしろさ、意外なモンスターの登場、世にも不思議な妖怪変化に、江戸人は喝采を惜しまなかった。

人間骸骨など目にするのではない江戸時代、あまりにもリアルな骸骨に誰もが驚がくした。

浮世絵三枚つづきワイドスクリーン型の大画面。モンスターを巨大に表現した絵はかつてない。荒唐無稽に見える髑髏どくろだが、助軟骨と助硬骨の描き分けや、下顎骨に神経と血管が通る「おとがい孔」まで描き添える生々しい正確なスケッチは、西洋解剖医学書を参考にしたのではないかと推測される。

当時の浮世絵師たちは、魔界、あるいは妖怪変化の劇画表現に創造力をふくらまして不可視の世界を創作し、いかに読者を驚かせるか、いかに珍奇な造型魔術を作り出すかを競い合った。

この絵も、奇抜な造型のおもしろさが堪能できる。

完



「相馬の古内裏 滝夜叉姫と大骸骨」歌川国芳



■中右瑛(なかう・えい)

抽象画家。

浮世絵・夢二エッセイスト。

1934年生まれ、神戸市在住。

行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。

予告

来春からは、浮世絵界最大のミニステリ
— 絵師・東洲斎写楽のハロティ版エッセイ
『吾輩ハ写楽ニアル』を連載します。
ご期待ください。

海 フネ 船 港

神戸新聞創刊二〇周年記念

屋久島チャータークルーズ

文写真 上川庄二郎



屋久島・宮之浦港に停泊する《ばしふいっく びいなす》

【神戸新聞創刊二〇周年】

地元神戸の有力日刊紙である神戸新聞社が、一八九八年（明治31）、当時の松方内閣に批判的だった神戸又新日報に対抗して創刊された。この経営を託された松方幸次郎は、創刊当初から社論として神戸港の築港に主眼を置き「神戸港に日本最大の埠頭をつくるべし」とぶちあげたという。（この当たりの詳細については、神戸新聞社刊「火輪の海」をお読みいただきたいと思う）

この精神を受け継いでか、今年創刊二〇周年を迎えた神戸新聞社が十月二〜四日の二泊三日で神戸港発着の「世界遺産・屋久島チャータークルーズ」を実施すると、一月に社告を打つてた。

神戸港発着の屋久島クルーズは、やれば必ず当たると言われるぐらい世界自然遺産がものを言っている。しかし、当たるのは当たり前とは言え、さすがに新聞社の社告である。募集後一か月も経たない内に満杯と言うことだからさすがである。

【神戸港から八〇〇kmの屋久島クルーズ】

待ちに待った十月一日、前日まで悩ませた台風15号も九州南部で熱帯性低気圧となつて、さわやかな秋空に晴れ上がった。ポーター・ミナルの待合は十時前から乗船客でこた返している。聞くところによると、前日になつて若干のキャンセルはあったものの四四五人が乗船するというから、今回の人気の高さを示すものだろう。

出航を前にして、ポートデッキでシャンパン片手にセイルアウェイが催され、華やかにテープの舞うなか汽笛の余韻を残して、神戸港を午前十二時、一路屋久島に向けて出航。



神戸新聞社 稲垣嗣夫会長から乗船客へのごあいさつ

通例のオリエンテーションに先立ち、主催者を代表して、神戸新聞社の稲垣嗣夫会長から「神戸新聞創刊二〇周年を迎え、みなと神戸にふさわしい記念行事をと、屋久島クルーズを企画した。これが奇しくも『ばしふいつくびいなす』一〇〇〇航海、就航十周年という節目に合致したことは大変嬉しい。皆さんも平素の煩わしさを忘れ、このクルーズで非日常の世界を存分に楽しんでください」といった趣旨の挨拶をされた。すでに昼食も済んで上機嫌の乗船客たちの気分も上々。

午後には、大森亮尚講師の「神々の宿る島―屋久島」の講演で、七千二百年の樹齢を数える縄文杉をはじめ長寿の巨樹群が、森の神の如くに太古の昔から静かに時を刻んでいると聞き、神々の宿る島とは！なるほど言い得て妙と感じ入った。

室戸沖に出たところで日没。台風一過の夕日を撮る



室戸沖の夕暮



種子島沖の日の出



夜明けの海の航跡



うとしたが、残念ながら水平線の雲が厚く、いつ。明日の日の出に期待するとしよう。

夕食は、主催者側の責任担当者でもある神戸新聞社の服部地域活動局長ご夫妻とともにさせていただいた。お互いに若い頃からの付き合いなので、ざつぐばらんに神戸市のこれからのことなどを話し合い、ワインの杯を重ね楽しいひとときを持たせていただいた。相席した相生にお住まいのご夫妻は、「初めての船旅だったが、これではまりそう」と心底楽しげだったのが印象に残る。

【屋久島・宮之浦港での歓迎】

翌朝五時半に起きて海からのご来迎を待ったが、種子島上空の雲が厚くすきつとした日の出にはお目にかかれず仕舞い。ただ二つ、夜明けの海で大海原に胸の透くような清々しい水尾を見たのが何よりの救いだった。

七時半過ぎ、着岸風景を見ようとポートデッキに出てみると、もう日高町長さんが来てくださっていて、私の姿を見て手を振ってください。久しぶりの再開だけに胸に込み上げてくるものを覚える。

船は定刻八時、屋久島・宮之浦港に着岸。屋



屋久島町長の歓迎あいさつ



船長・会長への花束贈呈



稲垣会長の答礼



神戸市長からのメッセージ伝達(筆者)

久島町長、観光協会他の皆さん大勢の迎えを受けての歓迎に深謝、深謝。

全国離島振興協議会副会長でもある日高十七郎町長の「この度の神戸新聞社の企画による屋久島へのご来島を心から歓迎します。心配された台風も屋久島上空で熱帯性低気圧になり、一気に秋の気配となりました。お蔭様で屋久島は年間60隻ほど来航いただいております。お蔭様ですが、山のトイレ問題など悩みも抱えております。何ともあれ、皆さんどうぞ今日一日、存分に屋久島の自然を楽しんでお帰りください」と歓迎あいさつ。

続いて日下田紀三屋久島観光協会副会長の歓迎あいさつ。引き続き矢田立郎神戸市長からのメッセージを私が読み上げ、「世界に開かれた神戸港と世界自然遺産の屋久島がこれからもクルーズを通じて末長く交流を続けてゆきましよう」と呼びかけた。

最後に、稲垣神戸新聞社会長から「神戸と言えば港です。今回の屋久島クルーズの成功を受けて、来年も秋にご当地クルーズを実施することとしているので、よろしく」と答礼あいさつ。

この後は、威勢のいい屋久島太鼓が披露され、ポートデ

拍手が渦巻いた。
互いに異なった文化を持つ地域同士が、このように形で交流を深められることは双方にとって願ってもないことだろう。

日高町長さんは、出航前にまた船に訪ねてくださり、船長、神戸新聞社会長、神戸市長にと屋久島の幻の焼酎と言われる「三岳」の大瓶化粧箱入りをお土産にくださった。こまやかな気遣いに一同感謝、感謝。

【環境保全に頭を痛める屋久島町】

歓迎行事が終わると、「屋久島と言えば縄文杉と言われますが、一日観光ではとても行けません。しかし、屋久島には他にも見るところは、杯あります」と言う日下田さんの弁を受けて、紀元杉を始め、白谷雲水峡トレッキングなど、乗船客の皆さんは、コース別のバスに分乗して屋久島観光ツアーに出掛けていった。それぞれに森林浴でマイナスイオンを身体一杯に浴びてきたことだろう。

日高町長の言葉にもあったように、この屋久島の悩みは環境問題だ。世界自然遺産になってからは、来島



樹齢二千数百年の紀元杉

する観光客が増えて、屋久島の自然が壊されつつあるとのことである。

そう言えば、私が行ったニュージーランドのトレッキングコースも、早くから二日の入山人数制限を設けていて事前に届け出て許可を得たものでなければ入山できないという制限していた。

みんなが出掛けた後、日下田さんが館長を務められる屋久杉記念館を訪ねてみた。そこでお聞きした話として忘れられないのは、「これ以上乗用車を山にあげてはいけない」と言うことで、この館の前の駐車場を今拡張している。完成の暁には、乗用車はここでストップさせ、ここからはシャトルバスを運行して、運べる範囲で入山を制限しようと考えている」とのことである。

また、タクシーの運転手からは、「屋久島はトイレが汚いと言われている。しかし、ここには船か飛行機でしか来れないわけだから、ここで入島税(料)を払ってもらい、世界自然遺産の中にトイレを設置し管理する費用に当てることなども検討しなければならぬのでは」。

。島の税金だけでは無理ですよ」といった話もでた。なるほどこれも一理あるな、と同感した。

いずれにせよ、世界自然遺産になったのは喜ばしいのだが、反面、それによって多くの人が押し寄せるよう

になり、その環境が守れなくなる。この矛盾をどう解決するのか。

かなりの投資が必要かもしれないが、日高町長がかねてから考え主張しておられる、屋久島に現存する森林鉄道を改良して、観光用鉄道に転換できればこれも有力な手段の一つだと言えよう。

サステイナブル(持続可能)な観光がこれからの大きな課題であることは間違いない。

【行政、報道、経済界が丸となって】

今回は、神戸新聞創刊二〇周年記念で初めてのチャータークルーズだったが、今年の成功を受けて来年もアンコール屋久島クルーズを実施することを公言した。このこと自体は神戸港振興の意味からはおおいに評価するところだが、同じく、神戸経済同友会が実施した「せとうち・感動クルーズ」の継続実施にも、地元新聞社としてぜひ片棒を担いでいただきたいものと期待している。

屋久島をはじめ、瀬戸内海や函館など国内各港との交流を進めるのはもちろんのこと、外国船の来航を促すためにも港湾管理者任せにせず、もともと行政、報道、経済界が一丸となり世界遺産のある京都奈良・姫路との連携を強化して、これらの玄関港としての神戸港を世界にアピールし、貨物港から「世界に冠たる客船港」へと華麗なる変身を目指したいものである。



■かみかわ しょうじろう

1935年生まれ。

神戸大学卒。神戸市に入り、消防局長を最後に定年退職。その後、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師を経て、現在フリーライター。